



## 「社会に貢献する薬剤師養成プログラム」の展開

千葉大学薬学部が代表校として四国地方にある薬学部との連携協定を締結

平成28年3月23日、千葉大学（学長：徳久剛史）では、千葉大学薬学部は、城西国際大学薬学部、千葉科学大学薬学部、徳島文理大学薬学部・香川薬学部、徳島大学薬学部及び松山大学薬学部と新たな高度薬剤師養成プログラム開発を目的として連携協定を締結しました。

### ■「平成24年度文部科学省大学間連携共同教育推進事業」について

千葉県及び四国のそれぞれ3大学は「平成24年度文部科学省大学間連携共同教育推進事業」の地域連携及び分野連携の取組みにプログラムを提案し採択されました。

千葉県では千葉大学薬学部が代表校として、城西国際大学薬学部、千葉科学大学薬学部と連携し「実践社会薬学の確立と発展に資する薬剤師養成プログラム」を実施してきました。3大学がそれぞれの強みを生かし、5コース12クラスを開講し、専門職連携教育（IPE）、救急災害薬学、薬物乱用防止活動などの分野においてeラーニングや実践演習を通じて、実践社会薬学教育を実施してまいりました。4年間で延べ652名のクラス登録者数を数え、5単位取得者には「連携実践社会薬学コース」修了を認定し、20名の学生にコース修了認定証を授与しております。

一方、四国では徳島文理大学薬学部が代表校として、香川薬学部、徳島大学薬学部及び松山大学薬学部は「四国の全薬学部の連携・共同による薬学教育改革」を進めております。課題発見能力と高度な問題解決能力を有する薬学系医療人・研究者の養成のための学士課程・大学院教育の質保証と四国特有の地域課題解決策を目指す薬学教育改革を進めてきました。具体的には遠隔講義システムによる4薬学部共同授業、また、災害対応薬剤師、へき地医療対応薬剤師養成教育に取り組んでいます。更に、eラーニングを用いた副作用診断教育プログラムを開講し、学生および卒業生の為の事業を実施しています。

### ■連携協定を締結するに至った経緯

千葉県及び徳島県で実績を積んできたこれらの取組みは、平成24年度に文部科学省が国公私立大学の設置形態を超え、地域や分野に応じた大学間が相互に連携し、社会の要請に応える共同の教育・質保証システムの構築を行う取組みとして選定した事業であります。平成26年度末に文部科学省「大学間連携共同教育推進事業中間評価委員会」による中間評価を受け、**両取組みとも5段階評価のA評価**という高い評価を頂きました。そこで、更なる教育改革を進める上で薬剤師養成という共通の課題を有している2つの取組みを実施している6大学・7薬学部が、「連携して共同事業、意見交換をする」ことが、相互の事業を展開する上で最善であるとの認識に立ち、連携協定を結ぶことで合意しました。

### ■今後の活動について

今後は、6大学7学部において連携をとり、講演会、学生の研発表会の共同開催、教員、学生の相互交流や、へき地医療、災害対策薬剤師養成、在宅医療等の意見交換を進めていきます。

### ■参考資料

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/kaikaku/renkei/](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/renkei/)

実践社会薬学の確立と発展に資する薬剤師養成プログラム

<http://www.yakuzaishi-yousei.jp/>

四国の全薬学部の連携・共同による薬学教育改革

<http://www.bunri-u.ac.jp/shikoku-yaku/>

本件に関するお問い合わせ先

千葉大学亥鼻地区事務部薬学部 猪野、石川

Tel : 043-226-2852 Fax : 043-226-2857

E-mail : yaku-renkei@chiba-u.jp